

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。 | | | | | |
|--|------|--|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 次のステップに向けて取り組みたい内容 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 6 | ①相手の立場になって、ご本人の行動を否定しない行動ができるよう、毎月の目標設定、勉強会等の取り組みを行う。 ②委員会の記録の在り方を自治体に確認するとともに、身体拘束を含む虐待防止についての施設内研修を行い、不適切ケア等の改善、予防に努めていく。 | 不適切なケア(声かけ)にならないよう、職員が互いに注意し合える環境を整える。 | ○不適切なケアに気付いた場合、その場で注意する。 また、注意された職員も快く受け入れ、態度を改める。 ○施設長による個人面談を必要時に実施する。 ○定期ミーティングや施設内研修、委員会等の機会に、ファミリーの現状や適切なケアについて話し合う。 | 6 ヶ月 |
| 2 | 47 | 現在は2階のご入居者も1階のお風呂で入浴されている。今後もゆとりある入浴にしたいと考えており、入浴を行う時間、入浴の回数と人数を検討していく。 | おひとりおひとりの入浴にかかる時間にゆとりを持ち、入浴を楽しみにして頂く。 | ○「早く予定を消化した方が優秀」という価値観、「責められたくないから早く終わらせよう」という思いの存在をなくすよう話し合い、職員の意識を統一し、午後も入浴を実施する。 ○ご入居者の羞恥心に配慮しつつ、男性職員も入浴介助を行うことにより、一部の女性職員に偏っている業務の負担を軽減する。 | 3 ヶ月 |
| 3 | 28 | アセスメントに症状を追記し、アセスメント内容と介護計画の整合性を整え、家族との話し合いを丁寧に行っていく。 | ○アセスメントと計画の整合性を整える。 ○ご家族との話し合いや説明をより丁寧に行う。 | ○アセスメントには細かいことも記載する。 ○「頭の中では分かっている」ということのないよう、もれなく記載し、アセスメントと計画の整合性を整える。 ○ご家族とのコミュニケーションをより丁寧にとる。 | 6 ヶ月 |
| 4 | 37 | 地域の実情とグループホームファミリーに対応した業務継続計画を作成し、訓練を含めた実践に繋げていく。 | 全職員でBCPを共有し、定期的な見直しや訓練時の気づきを活かすことにより、実際の非常時に役立つものにできる。 | ○BCPを全職員で共有する。 ○1年に1度は計画を見直す。 ○訓練にはできるだけ多くの職員が参加し、訓練で得た気づきを計画に活かす。 | 12 ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |